

単元名 4 状況の中で ―挨拶 ――原爆の写真によせて

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 比喩や抽象的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えることができる。
 (2) 現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめることができる。
 (3) 詩の構成や表現の仕方について積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことをまとめようとする。

標準的な展開例

12210201_001

【準備等】原爆の写真（数枚），国語指導CD，再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 詩の背景にある歴史的事実を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 詩の背景にある歴史的事実をつかみ、重要語句の意味を理解しよう。 ○ 原爆について知っていることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ いつ ・ どこで ・ なにが ○ 原爆の写真を見て、感じたことをノートに書き、発表する。 ○ 詩を音読する。 ○ 文脈の中での語句の意味を理解する。 ○ 「顔」という表現を捉える。 <p>2 現実の世界の状況と重ね合わせながら、作者の主張をつかみ、自分の意見を述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題を確認して、詩を音読する。 ★ 現実の世界の状況と重ね合わせながら、作者の主張をつかみ、自分の意見を述べよう。 ○ 表現の効果を評価する。 ○ 自分の意見を述べる。 ○ 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜、内容を補足していく。 ・ 原爆の写真を見て感想を書くことで、作者の追体験をさせると同時に、歴史的事実を身近に感じさせる。 ・ 教師の範読か、国語指導CDを聞かせ、その後に斉読させる。 ・ 意味の分からない語句を辞書で調べさせる。 ・ また、短文作りによって、語句の意味を身に付けさせる。 【評】語句の文脈での意味を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 詩の中で繰り返し出てくる「顔」が、それぞれどのような人の「顔」を表現しているのか考えさせる。 ・ 第6連にある「午前八時一五分は／毎朝やってくる」という表現に込められた意味とその効果を考えさせる。 ・ 「油断」の意味とその効果について考えさせる。 ・ 作者がこの詩の中で、どのようなことを考え伝えようとしたのかを踏まえて、現代社会の状況と重ね合わせながら、自分の意見を述べさせる。 【評】自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 詩に使われている表現の効果について考えたことや、詩に表現された内容について考えたことをまとめさせる。 【評】学習を振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

中学校の最終学年にふさわしく、厳しい状況下に置かれた人間の姿を読み取り、読み深めていきたい。表現の工夫に注意して読んでいく中で、人物や作者の心情だけでなく、彼らがそのように感じ、考えた時代背景にも目を向けさせたい。そうした人間と社会との普遍的な関わりについて考えを深め、自分なりの意見をもたせたい。「故郷」は、道徳のD－(22)「よりよく生きる喜び」に当たる。